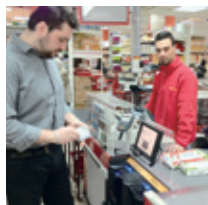


# GLORY REPORT

グローリーレポート



## Contents

トップインタビュー	01
国内・海外事業本部戦略について	05
海外製品トピックス	06
グローリーピープル	07
CSRトピックス	08
セグメント別の状況	09
財務データ	11
会社情報	13
株主メモ	

## 海外製品トピックス

レジ周りから、バックオフィスまで。  
CASHINFINITY®が  
スマートキャッシュマネジメントを実現！

..... Page 06

## GLORY people

製品を直すだけじゃない。  
お客さまを笑顔にすることも  
テクニカルスタッフの使命。

..... Page 07

グローリー株式会社

第66期  
報告書

平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで



代表取締役社長

尾上 和

## TOP INTERVIEW

創業100周年に向けて  
『長期ビジョン2018』を策定。  
グループ一丸となって  
「世界のトップブランド」を  
目指します。

### Question 1

社長就任の初年度となった平成24年3月期の  
事業概況と業績についてお聞かせください。

厳しい経済環境のなか、  
海外市場、流通・交通市場の業績好調により  
増収増益を達成いたしました

当期の日本経済は、東日本大震災からの緩やかな回復傾向にありましたが、欧州における債務問題を背景とした海外景気の減速や円高・原油高の影響等により、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

そのような環境下で、当社の主要市場である国内の金融市場では、海外における金融不安の影響は少なかったものの、大口需要の減少等により、市場全体は低調でした。また、流通・交通市場では、主要製品である「レジつり銭機」が好調でありました。特に、積極的な提案営業が、専門店や外食チェーンなど未導入市場における大口需要の獲得につながりました。遊技市場では、パチスロ人気の回復などにより堅調に推移いたしました。

一方、海外市場では、欧州債務問題の影響等により厳しい環境ではありましたが、アジア諸国の経済成長の勢いは継続し、中国やインドにおいては「紙幣整理機」等の販売が好調でした。また米州では、「ATM用紙幣・小切手入金ユニット」の販売が順調に拡大いたしました。以上の結果、当期の連結業績は、売上高、利益とも増加しました。

#### 平成24年3月期の実績と平成25年3月期の業績予想(連結)

	平成23年3月期(前期)	平成24年3月期(当期)	平成25年3月期(予想)
売上高	1,389億64百万円	1,469億37百万円 (+5.7%)	1,550億円
営業利益	103億23百万円	112億74百万円 (+9.2%)	120億円
経常利益	110億28百万円	119億 8百万円 (+8.0%)	120億円
当期純利益	62億29百万円	62億46百万円 (+0.3%)	70億円

( )内数値は、前期比

#### Question 2

### 『2011中期経営計画』の成果はいかがでしたか。

#### 海外市場拡大に向けた基盤整備と利益体質の強化が進みました

平成21年度からの3ヶ年を計画期間とした『2011中期経営計画』では、「世界的視野でビジネスチャンスをつえ、新たな成長ステージへ飛躍する!」という基本方針の下、「ビジネス戦略」、「体質強化戦略」、「グループ体制強化戦略」を3本柱として取り組んでまいりました。

「ビジネス戦略」につきましては、“基盤ビジネス”と位置づけた国内事業において、原価低減による収益性改善、新製品の積極投入、新市場の開拓等の重点施策に取り組み、事業基盤の強化が進みました。“成長ビジネス”と位

置づけた海外事業においては、リーマンショックに端を発した世界的金融危機や欧州債務問題による景気低迷の影響が大きく、計画策定当初の売上高目標は未達となりましたが、アジア市場における販売は大きく拡大いたしました。また、イタリアの販売代理店Sitrade Italia S.p.A.の買収やインドにおける販売子会社の設立など、販売・保守網の拡充に向け、積極的に諸施策を展開してまいりました。さらには、平成24年2月に、貨幣処理機の製造・販売会社である英国Talaris Topco Limited(以下「タラリス社」)の買収を決議するなど、海外事業の拡大に向け注力してまいりました。

「体質強化戦略」につきましては、開発、生産・調達等、各機能における革新活動を着実に実施し、経営体質を強化してまいりました。今後、さらなる原価低減や開発効率向上など、具体的な成果につながると考えております。

また、「グループ体制強化戦略」につきましては、海外子会社を含めたグループガバナンスの強化やコンプライアンス経営の浸透・徹底を図るとともに、グループ体制の再構築を進め、本計画期間中にグループ会社を34社から28社に再編するなど、経営の効率化を図ってまいりました。

以上の結果、各市場における基盤整備と利益体質の強化を着実に進めることができたと考えております。

Question 3

『長期ビジョン2018』策定の狙いを教えてください。

創業100周年にグループビジョンを実現するため、目指す姿を明確にしました

当社は、6年後の平成30(2018)年に、創業100周年を迎えます。この節目の年に、グループビジョンである「GLORYを世界のトップブランドに!」を実現するための共有目標として、『長期ビジョン2018』(右図)を策定いたしました。当社の原点である「モノづくり」を大切に、コア技術である「認識・識別技術」、「メカトロ技術」を追求することにより、新たな製品やサービスを作り出していくとともに、社会の公器としてCSR活動にも注力してまいります。

Question 4

『2014中期経営計画』についてお聞かせください。

基本戦略を着実に推し進め、収益力の強化に取り組んでまいります

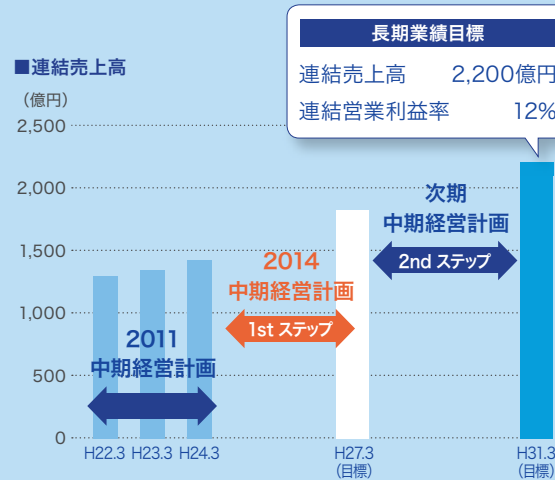
当社グループは、上記の長期ビジョンの実現に向けた第1段階として、本年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2014中期経営計画』をスタートさせました。本計画では、

長期ビジョン2018

長期基本方針

「モノづくり」の技術で新たな価値を創造し、夢へ挑戦する

CSR活動を通じて、社会とともに継続的な成長を図る



2014中期経営計画



MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN

基本方針

- 長期ビジョン達成に向けた成長戦略推進と収益力強化
- 営業利益率10%以上

経営目標

- ROE 6.0%以上

業績目標

- 連結売上高 1,800億円
- 連結営業利益 180億円
- 海外売上高比率 30%以上

基本戦略

事業戦略	機能戦略	企業戦略
● 国内事業戦略	● 製品開発戦略	● グループ体制戦略
● 海外事業戦略	● 生産・調達戦略	● 人事戦略
● 新事業戦略	● 品質保証戦略	● 資本・財務戦略

上記数値は、いずれも最終年度目標値です。

「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」を基本戦略と定め、収益力の強化に力を注いでまいります。

まず、「事業戦略」につきましては、海外事業において、欧州・米州・アジアの“3極体制”を構築し、地域別事業戦略を推進するとともに、直販・直メンテナンス地域の拡大

を図り、収益基盤を確立してまいります。一方、国内事業においては、当社製品がまだ導入されていない市場への積極的な事業展開や、新製品の投入を行い、セグメントごとの利益体質を強化してまいります。

「機能戦略」につきましては、市場環境の変化に機敏に対

応できる製品開発体制の構築や高度なコア技術の開発力強化を図り、世界各地のお客さまのニーズに柔軟に対応してまいります。

「企業戦略」につきましては、これらの戦略を支える経営基盤強化を図るため、引き続きグループガバナンス体制の強化やコンプライアンス経営の浸透・徹底を進めてまいります。

#### Question 5

**平成25年3月期の見通しについて教えてください。**

**売上高1,550億円、営業利益120億円  
を目指してまいります**

平成25年3月期の連結業績につきましては、売上高1,550億円、営業利益120億円、経常利益120億円、当期純利益70億円を予想しております。

国内の金融市場においては、コンパクトタイプの「オープン出納システム」を、まだ導入いただいていない金融機関に対して積極的に提案してまいります。流通・交通市場においては、レジの稼働台数に対する「レジつり銭機」の導入率は低く、潜在需要が見込まれるため、今後も積極的な営業活動を展開してまいります。

海外市場においては、中国やインドに加え、アジアや中

南米の新興国でも販売が順調に伸びる見込みです。欧州では、欧州債務問題の長期化懸念が広がるなど不透明な状況にありますが、経済環境の厳しさは効率化ニーズにもつながり、ビジネスチャンスはあると考えております。

なお、前述のタラリス社の買収につきましては、現在、関係各国の規制法令上の認可等の審査段階にあり、買収成立時期は未定であります。進捗状況に合わせ適宜ご報告してまいります。買収成立後は、当社の高い製品力と、同社のシステムソリューション力、販売・保守網を融合し、海外事業展開を加速してまいりたいと考えております。

#### Question 6

**最後に、株主のみなさまに、  
配当方針の説明とメッセージをお願いします。**

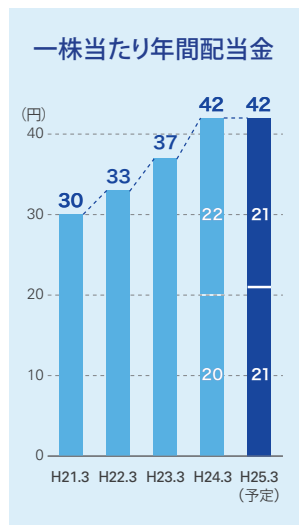
**当期の配当は、1株あたり42円と  
させていただきました**

当社は、連結自己資本配当率1.8%、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行うこととしており、当期の期末配当は、期初予想の21円に1円を加え、1株につき22円をお支払いいたしました。これにより、中間配当20円を加えた年間配当は、前期比5円増の42円となりました。



次期の配当につきましては、現在の方針を継続し、1株につき42円(中間配当21円、期末配当21円)とさせていただきます予定です。

株主のみなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 国内事業本部

### 『2011中期経営計画』の振り返り

当本部では、当社グループの“基盤ビジネス”として、新製品の積極投入や新市場の開拓に注力いたしました。金融市場では、新製品として、中小規模店舗向けのコンパクトタイプの「オープン出納システム」や、通帳や鍵等を厳正管理する「重要物管理機」を発売いたしました。流通・交通市場では、「レジつり銭機」の拡販に向け、専門店や飲食店

にも積極的な営業活動を展開し、売上が拡大いたしました。遊技市場では、パチスロ人気回復の好機を捉え、メダル関連機器の拡販が進みました。その他の市場では、「病院向け診療費支払機」のシェアが精力的な営業活動により拡大しました。これらの取組みの結果、各市場において基盤固めが進みました。

### 『2014中期経営計画』について

## 未導入市場への積極的な展開によるシェア拡大



取締役常務執行役員  
国内事業本部長

### 山口 義行

当社製品は、国内の各市場で高いシェアを占めておりますが、一方でまだ開拓できていない市場もあります。これらの市場に特化したプロジェクトチームを立ち上げ、拡販に向けて注力してまいります。

また、営業力強化のための人材育成にも積極的に

取り組んでまいります。通貨処理機はもちろん、周辺機器・サービスまで幅広く提案できる体制を構築し、お客さまから信頼される“パートナー”となるために、きめ細やかな販売戦略を展開し、当社グループを支える基盤事業として、さらに飛躍してまいります。

#### 事業戦略

##### ■金融市場

- 「オープン出納システム」市場の拡大と非現金分野の開拓
- システムメーカーとの連携強化

##### ■流通・交通市場

- ユーザーニーズの追求による事業領域拡大と収益拡大

##### ■遊技市場

- ホール向け新システムの開発

##### ■その他

- 新たな自動販売機事業の創出
- 市場の深掘りと事業領域の拡大

## 海外事業本部

### 『2011中期経営計画』の振り返り

当本部では、『2011中期経営計画』の最重要課題であった海外事業の拡大に向け、3年間にわたり様々な施策を展開してまいりました。残念ながら計画当初の売上高目標には及びませんでしたが、次期に向けた事業基盤の強化を図ることができたと考えております。体制面では、製品群別に編成していた営業部門を地域別に改め、各地域戦略を強力に推進

いたしました。特に、欧州最大の販売代理店であったSitrade Italia S.p.A.の買収は、業績に大きく寄与しました。また、急速な市場拡大が進むアジアでは、中国における代理店の拡充やインドにおける販売子会社の設立を行いました。

### 『2014中期経営計画』について

## 通貨処理機のグローバルNo.1企業を目指して



常務執行役員  
海外事業本部長

### 吉岡 徹

当本部では、これまでに整備してきた販売体制を基盤とし、欧州・米州・アジアの“3極体制”を構築することにより、地域別戦略をさらに強力に推進してまいります。

例えば、中国、インドに続き、アジアや中南米の新興国でも経済成長とともに通貨処理の機械化

ニーズが高まりを見せ、欧米では、金融市場に次いで流通市場でも現金管理の厳正化ニーズが見込まれます。当社グループでは、これらの市場や地域特性に応じた機動的な営業戦略を展開することによりシェア拡大を図り、グローバルNo.1企業を目指してまいります。

#### 事業戦略

##### ■機能強化戦略

- 欧・米・アジアの3極体制の構築
- 直販・直メンテナンス地域の拡大
- 代理店販売の強化

##### ■地域別事業戦略

- 欧州市場  
銀行店舗向けソリューションの強化  
新興国への拡販  
リテール事業の強化
- 米州市場  
大手行への「窓口用紙幣入出金機」の拡販  
新興国への拡販
- アジア市場  
主要国での販売強化(中国、インド)  
新興国への拡販(ASEAN等)  
価格競争力の強化
- OEM市場  
OEM先との協業の拡大



# レジ周りから、バックオフィスまで。 CASHINFINITY®が スマートキャッシュマネジメントを実現！

平成23年10月、当社は、海外の流通市場向けにCASHINFINITY®（以下「キャッシュインフィニティ」）を発売いたしました。キャッシュインフィニティのロゴは、∞（無限大の意。英語で“infinity”）。流通店舗全体における現金処理の最適化を実現するとともに、本システムを無限の可能性を持って展開していきたいという想いを込めています。海外の多くの流通店舗では、今でも手作業による売上金処理やつり銭準備が行われて

おり、人件費削減やセキュリティ向上の観点から機械化ニーズが急速に高まっています。当社はこれらのニーズに応えるべく、本システムを開発。レジでの現金受渡しからバックオフィスでの精算業務まで、従業員が現金に手を触れる必要のない、厳正かつスマートなキャッシュマネジメントを実現いたしました。

## 紙幣・硬貨つり銭機 (CI-10)

代金支払いもつり銭の受取りも、買物客自身で。バックオフィスへの現金運搬もカセットで行うことができ、レジ担当者は現金に触れる必要がありません。



## 紙幣・硬貨入出金機 (CI-100)

レジカウンターで(CI-10)から取り出した収納カセットを本製品にセットするだけで、売上金の精算処理が完了。つり銭用の紙幣もカセットに自動装填されます。



reddot design award  
winner 2012

## レッドドット・デザイン賞 受賞！

「レッドドットデザイン賞」は、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター主催の世界的に権威あるデザイン賞です。革新性、機能性、品質等、9つの基準に基づき選定される本賞を、キャッシュインフィニティを構成する(CI-10)、(CI-100)が受賞いたしました。

## CASHINFINITY®で、 新たな領域へ躍進



GLORY France  
President (社長)  
**Laurent Lieutaud**  
(ロボン・リヤトウ)



スーパーマーケットからベーカリーや薬局に至るまで、流通店舗の管理者やオーナーは、現金処理業務の効率化・厳正化を実現するソリューションを求めています。その市場規模は極めて大きく、グローバルかつ有望な市場として大きな可能性を秘めています。CASHINFINITY®は、どんな業態にも対応可能な柔軟かつ画期的なシステム。本システムを拡販するとともに、POSメーカーや銀行、警備輸送会社等との協業による新たな事業展開にも取り組んでまいります。

## 在高管理サーバー (CI-SERVER)

(CI-10)、(CI-100)の現金在高をリアルタイム監視。店内現金在高の最適運用が可能です。



## 製品を直すだけじゃない。 お客さまを笑顔にすることも テクニカルスタッフの使命。

グローリーの強みは、製品の開発から販売後のアフターサービスまでをグループ一貫で行い、きめ細やかなサービスを提供できること。

今回は、市場の製品品質を支える保守スタッフの話をお届けします。

保守本部  
首都圏支店 CS一課  
シニアスタッフ  
竹内 俊行

## 日本全国のお客さまを サポートする

金融機関、流通店舗、病院等、様々な場所で使用されるグローリー製品。製品をお届けするだけでなく、その後のサポートも重要な使命だ。日本全国のお客さまを、24時間・365日サポートするのが「テクニカルスタッフ（以下「TS」）」。あらゆる製品の保守に対応するため、徹底的なトレーニングを積んだエキスパート集団だ。

## 信頼に応える

昨年3月11日。神奈川県葉山のお客さまのもとで保守作業をしていたTSの竹内は、揺れを感じた。それほど大きな地震だとは思わなかったが、事務所からの連絡で事の大きさを知った。東日本大震災だった。普段から担当する横浜市内の病院で診療費支払機6台が全て故障。すぐに来て欲しいという。支払機が停止すると病院の精算業務がストップする。「一刻も早く修理しないと。」竹内は、強い使命感を覚え車に飛び乗ったが、地震の影響で交通は麻痺状態。焦る気持ちを抑えて現場に向かう。いつもなら40分の道のりに3時間以上かかり、到着したときには午後6時を回っていた。病院の待合ロビーは人であふれかえっていた。電気は通じていたものの、至るところで職員たちが慌しく外来患者とやり取りしていた。家に帰れない人の確認や毛布の配布等々…。

竹内は製品の状況を確認しようと担当者に声をかけたが、話す余裕もなさそうに「任せたよ。竹内さんのこと信頼してるから。」そう言って忙しそうにロビーに戻っていった。竹内は、現場の状況に緊張すると

ともに、担当者の信頼を意気を感じた。「製品を早く直さなくては。」竹内は工具かばんを開き、早速修理に取り掛かった。

午後9時過ぎ。ようやくすべての支払機が正常に稼働するのを確認できた。ほっとする竹内に担当者が声をかけた。「ありがとう。これで患者さんを待たせずに済むよ。竹内さんがいる間は、グローリーから製品を買わないとね。」担当者が見せる安堵の笑顔に、竹内の疲労もすっと消えた気がした。

## サービスは察すること

「何か困ってらっしゃることはないですか？」お客さまを訪問するたびに竹内は話しかける。「製品が使われている現場を見ていると、その製品の“クセ”が分かるんです。データを解析するだけでは分からないことも多いんですよ。」と竹内は言う。日ごろの細やかなコミュニケーションの積み重ねが、信頼関係につながる。

竹内の信条は、“サービスは察すること”。「製品の修理は、TSとして当たり前。直すだけでなく、お客さまの立場で考えるように心掛けています。何が一番良い方法かは、お客さまによって違いますから。」竹内は穏やかに、しかし自信に満ちた表情で話す。

この4月からは現場を離れ、お客さまからの要望受付や、保守プランの提案を担当することになった。お客さまの一番近くにいた自分だからこそできる提案がある。“サービスは察すること”を胸に、竹内は新たなフィールドで活躍している。





当社は、良き企業市民として行動し、社会との共存・共生に努めております。  
このコーナーでは、当社グループのCSR活動についてご紹介いたします。

### 開発途上国の支援を食堂から

#### ～TABLE FOR TWOプログラムを導入～

当社では、平成23年7月より、本社の社員食堂で「TABLE FOR TWOプログラム」を導入しております。

このプログラムは、「先進国の人々と開発途上国の子どもたちが、時間と空間を越えて食事を分かち合う」というコンセプトのもと、特定非営利活動法人「TABLE FOR TWO International」により運営されています。ガイドラインの基準を満たすヘルシーなメニュー1食につき、20円（開発途上国の給食1食分）が寄付される仕組みで、これまでに約3,000食分をウガンダ、ルワンダ、マラウィ、エチオピア等アフリカ諸国の子どもたちに寄付することができました。



### 多様な生物が息づく環境を守るために

#### ～「グローリー夢咲きの森」にて～

当社は、平成23年4月より、兵庫県姫路市夢前町で森林整備活動に取り組んでおります。

活動場所である森林の名称は、社内で公募。「夢が咲く希望のある森になるように」との願いを込めた「グローリー夢咲きの森」に決定いたしました。

第1回目の活動となった「森開き」には、従業員約50名が参加。兵庫県産ヤマザクラやコナラなどの植樹や、森に日光を取り入れるための除伐作業を行いました。慣れない作業に奮闘しながらも、参加者からは、「自然の中で作業し、爽快な気分になった」「子どもの頃森で遊んだ経験を思い出し、楽しかった」といった声が聞かれました。当社グループは今後とも、継続して環境保全活動に取り組んでまいります。



### 親子の時間を深める時間を

#### ～「親子体験教室」開催～

公益財団法人 グローリー小学生育成財団では、親子のより深い絆作りを目的に、平成22年より小学生とその保護者を対象とした「親子体験教室」を開催しております。

平成23年11月の熱気球搭乗体験では、300名以上の親子が澄み渡る秋空での空中散歩を楽しむとともに、熱気球が空に浮かぶ仕組みについて学びました。また、本年5月の水族館触れ合い体験では、約80名の親子が水辺の生き物との触れ合いを楽しみ、その生態について学びました。

当社は今後とも、同財団への支援を通じて、地域の子どもたちの健やかな成長に貢献してまいります。



## セグメント別の状況

その他

140億62百万円  
(9.6%)

海外市場

353億6百万円  
(24.0%)

遊技市場

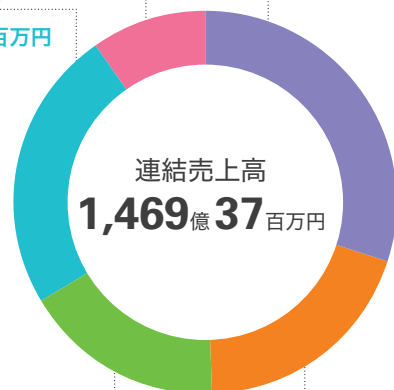
248億11百万円  
(16.9%)

金融市場

441億91百万円  
(30.1%)

流通・  
交通市場

285億66百万円  
(19.4%)



\* ( )内数値は構成比

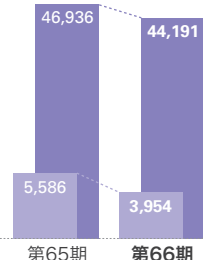
## 金融市場

■ 売上高 **44,191** 百万円

前期比 **-5.8%** ↓

■ 営業利益 **3,954** 百万円

前期比 **-29.2%** ↓



### 主な販売先

国内の金融機関、日本郵政、OEM先

### 「ATM用硬貨入出金ユニット」は 好調であったものの、市場全体では苦戦

主要製品であるオープン出納システムの販売は、コンパクトタイプの大口需要の減少により低調でありました。OEM商品につきましては、ATM用硬貨入出金ユニットの販売は好調であったものの、窓口用入出金システムのユニットの販売は更新需要の延伸等により低調でありました。

オープン出納システム  
(WAVE700シリーズ)



金融機関の営業店舗で、出納担当者に代わって現金を一元管理し、業務の厳正化と効率化に大きく貢献する当社の主力製品。金融機関にとって欠かせない存在です。

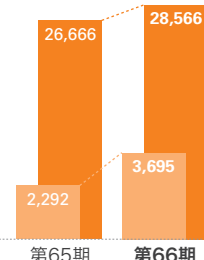
## 流通・交通市場

■ 売上高 **28,566** 百万円

前期比 **+7.1%** ↑

■ 営業利益 **3,695** 百万円

前期比 **+61.2%** ↑



### 主な販売先

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社

### 大口需要の獲得により、 「レジつり銭機」の販売が拡大

OEM商品である店舗入出金機の販売は低調であったものの、主要製品であるレジつり銭機の販売は、設備投資意欲の回復や大口需要の獲得により好調であり、市場全体としては堅調に推移いたしました。

硬貨／紙幣レジつり銭機  
(RT-200/RAD-200)  
包装硬貨管理機  
(WD-200)



レジつり銭機に包装硬貨の管理機を組み合わせ、レジ周りの現金管理を一元化。薬局や飲食チェーン等、新たな業態への導入も進んでいます。

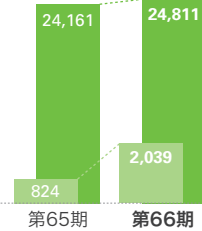
## 遊技市場

■ 売上高 **24,811** 百万円

前期比 **+2.7%** ↗

■ 営業利益 **2,039** 百万円

前期比 **+147.3%** ↗



### 主な販売先

国内の遊技場(パチンコホール等)

### メダル関連機器の好調を受け、市場全体も回復

主要製品であるカードシステム等の販売は、競合他社との競争激化の影響もあり低調であったものの、メダル関連機器の販売は、パチスロ人気の回復を受け好調であり、市場全体としては堅調に推移いたしました。

なお、営業利益につきましては、破産更生債権の回収等もあり、前期に比べ、大きく増加いたしました。

PAPIMO対応  
台間高額メダル貸機  
<JMM-100>



高額紙幣対応の台間メダル貸機。非接触ICチップを内蔵した携帯電話を读取部にかざすだけで再プレイが可能です。

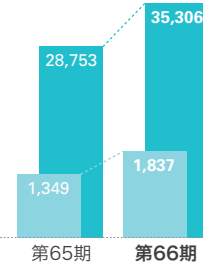
## 海外市場

■ 売上高 **35,306** 百万円

前期比 **+22.8%** ↗

■ 営業利益 **1,837** 百万円

前期比 **+36.1%** ↗



### 主な販売先

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先

### 米州では「紙幣・小切手入金ユニット」が好調。 欧州はSitrade Italia S.p.A.の買収効果により順調

米州では、OEM商品である米国向けATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が好調でありました。アジアでは、中国を中心に紙幣整理機の販売が順調であり、欧州でも、イタリアの販売子会社Sitrade Italia S.p.A.の買収効果により順調でありました。

紙幣整理機  
<USF-100>



紙幣の真偽判別や正損選別、混合紙幣の一括計数など、さまざまな処理に対応した紙幣整理機。アジアの金融機関の機械化ニーズに伴い、販売が拡大しています。

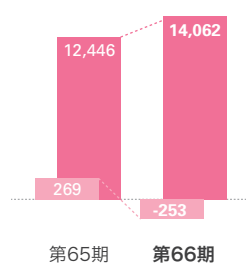
## その他

■ 売上高 **14,062** 百万円

前期比 **+13.0%** ↗

■ 営業損失 **253** 百万円

前期は営業利益 **269** 百万円 ↘



### 主な販売先

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、民間企業

診療費支払機  
<FHP-10>



来院者自身が診療費を精算。病院側の管理業務を軽減するとともに、来院者を精算待ちのストレスから開放します。また、「少しでも多くの人に使いやすいデザインを」というコンセプトで開発。人の色覚の多様性に配慮した製品として、「カラーユニバーサルデザイン\*」認証を取得しています。



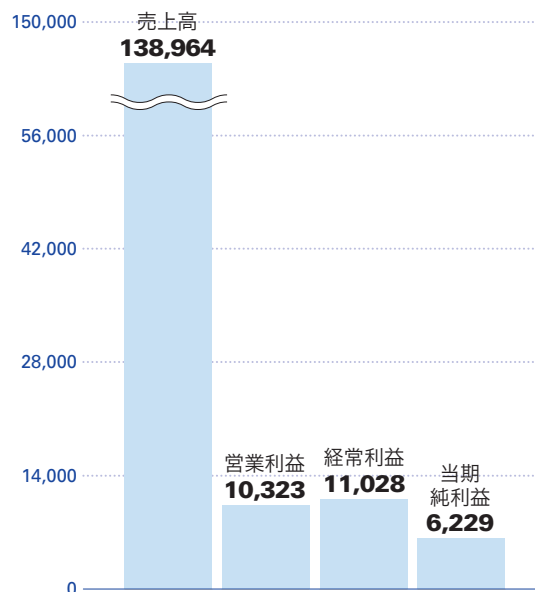
\*カラーユニバーサルデザイン認証

色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく分かりやすい配慮をしたデザインに対し、NPO法人「カラーユニバーサルデザイン機構」が認証するものです。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

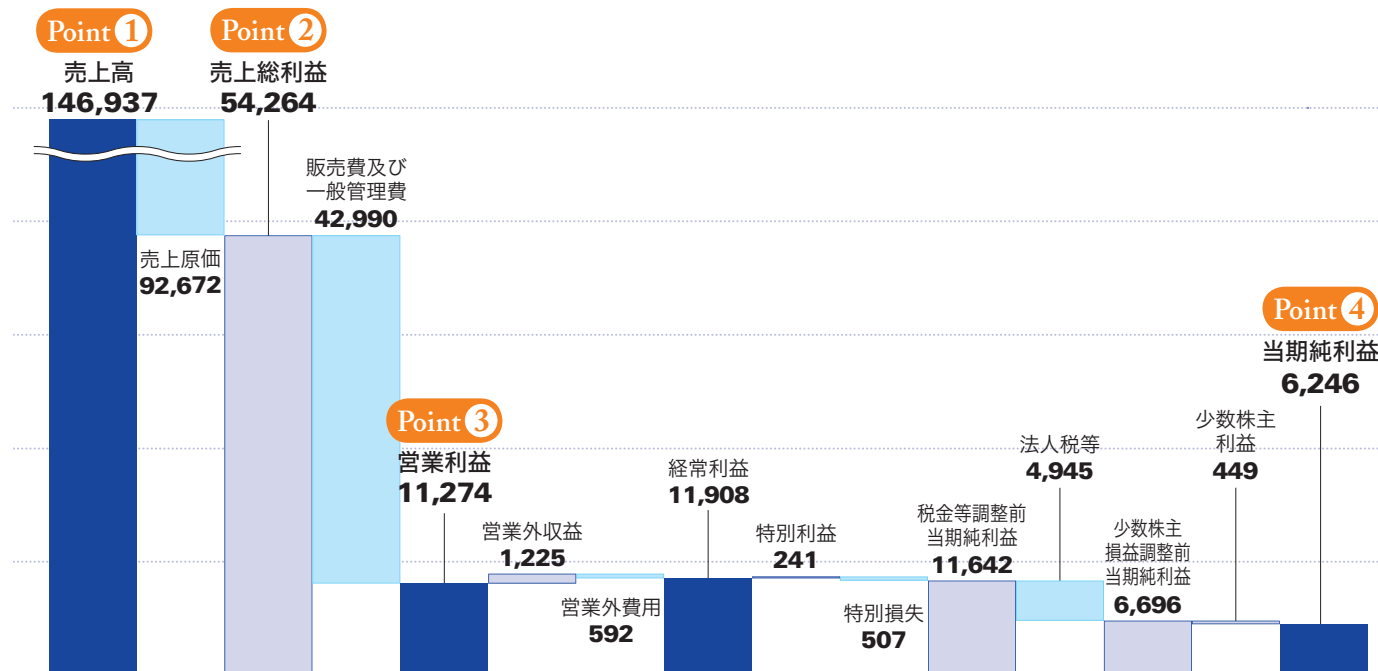
前期

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)



当期

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)



Point

① 売上高

遊技市場での販売が回復してきたことに加え、海外市場、流通・交通市場が好調であったため、前期に比べ5.7%増加しました。

② 売上総利益

新製品開発費の増加等により売上原価率が上昇したものの、前期に比べ3.9%増加しました。

③ 営業利益

売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上高の増加により、前期に比べ9.2%増加しました。

④ 当期純利益

税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し(7億50百万円)による減益要因があったものの、前期に比べ0.3%増加しました。

# Point

## ① 流動資産

現金及び預金の増加(86億26百万円)や受取手形及び売掛金の増加(50億48百万円)等により、前期に比べ130億36百万円増加しました。

## ② 固定資産

投資有価証券の減少(30億28百万円)や「のれん」の減少(12億32百万円)等により、前期に比べ58億11百万円減少しました。

## ③ 営業活動による キャッシュ・フロー

売上債権の増加、法人税等の支払による資金の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益及び減価償却費等の資金の増加要因があったことにより、110億18百万円の収入となりました。

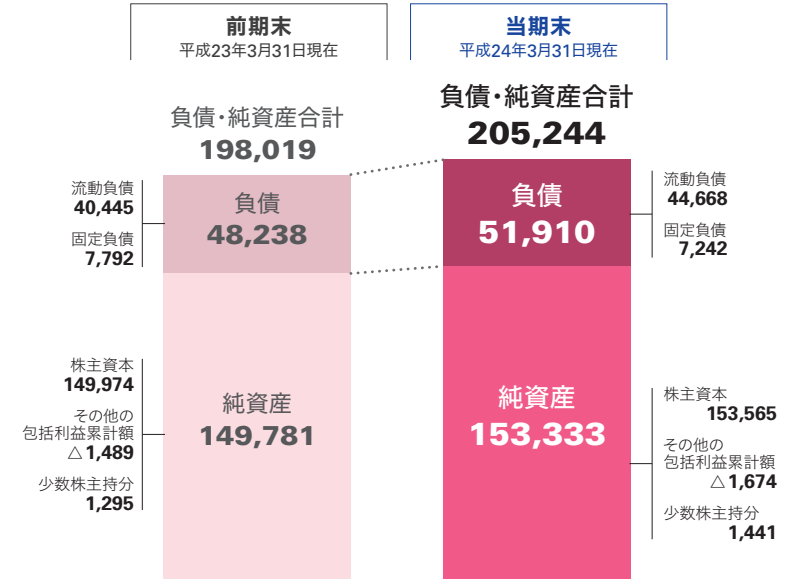
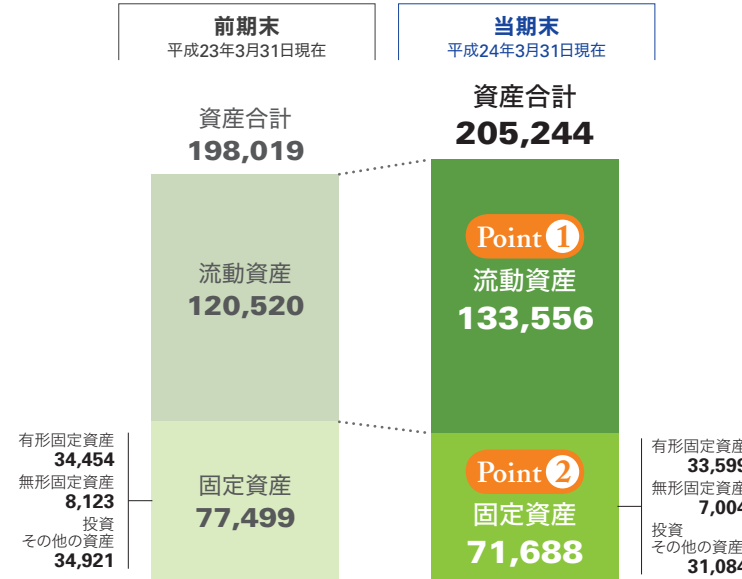
## ④ 投資活動による キャッシュ・フロー

投資有価証券の売却及び償還による収入があったものの、投資有価証券の取得及び有形固定資産の取得等による支出により、24億29百万円の支出となりました。

## ⑤ 財務活動による キャッシュ・フロー

主に配当金の支払により、27億61百万円の支出となりました。

## 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



## 会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	<a href="http://www.glory.co.jp">http://www.glory.co.jp</a>
従業員数	3,561名(連結 6,149名) (平成24年3月31日現在)

## 事業所

本社・ 本社工場	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL: 079(297) 3131(代表) FAX: 079(294) 6233
東京本部	〒101-8977 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX TEL: 03(5207) 3100
品川事業所	〒141-8581 東京都品川区大崎五丁目4番6号 TEL: 03(3495) 6301
埼玉工場	〒347-0004 埼玉県加須市古川二丁目4番地1 TEL: 0480(68) 4661
支店等	7支店: 東北支店(仙台)、東日本支店(さいたま)、 首都圏支店(東京)、東海支店(名古屋)、 近畿支店(大阪)、中四国支店(広島)、 九州支店(福岡) 姫路物流センター・姫路パーツセンター 41営業所・27出張所・3サービスセンター

## 役員一覧

### 取締役

代表取締役会長	西野秀人
代表取締役社長	尾上広和
取締役相談役	尾上壽男
取締役	一谷昌弘
取締役	石堂知明
取締役	山口義行
取締役	三和元純
社外取締役	佐々木宏機
社外取締役	新島昭

### 監査役

常勤監査役	中塚良幸
常勤監査役	大谷俊彦
社外監査役	竹田佑一
社外監査役	中上幹雄

### 執行役員

専務執行役員	一谷昌弘	上席執行役員	廣田泉海
専務執行役員	西武宣	上席執行役員	村上憲生
専務執行役員	田中修	上席執行役員	三井上史
常務執行役員	松下秀明	上席執行役員	三井上英元
常務執行役員	石堂知明	上席執行役員	三井上成純
常務執行役員	太田幸一	執行役員	関野博一
常務執行役員	吉岡徹	執行役員	福井宏明
常務執行役員	山口義行	執行役員	渋谷孝学
		執行役員	井路正義
		執行役員	藤井正稔
		執行役員	小谷場要
		執行役員	馬場哲
		執行役員	清水弥
		執行役員	原田徳明
		執行役員	原田浩

## グループ会社

### 国内製造系（計5社）

●印は連結子会社

- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーシステムクリエイト株式会社
- グローリーフレンドリー株式会社
- グローリーメカトロニクス株式会社

### 国内販売系（計8社）

- グローリーサービス株式会社 \*1
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24
- グローリーエンジニアリング株式会社
- 株式会社日本決済情報センター

他1社

### 海外現地法人（計14社）

- GLORY (U.S.A.) INC.
- GLORY Europe GmbH
- Standardwerk Eugen Reis GmbH
- GLORY France \*2
- GLORY MONEY HANDLING MACHINES PTE LTD
- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- 光栄国際貿易(上海)有限公司
- Sitrade Italia S.p.A.

GLORY (PHILIPPINES), INC.

GLORY Cash Handling Systems (China) Ltd.

GLORY IPO Asia Ltd.

光栄華南貿易(深圳)有限公司

GLORY Currency Automation India Pvt. Ltd.\*3 他1社

\*1 グローリーサービス株式会社は、当社の子会社であったグローリーF&C株式会社を平成24年4月1日付で吸収合併いたしました。

\*2 GLORY Franceは、当期より連結子会社となりました。

\*3 GLORY Currency Automation India Pvt. Ltd.は平成23年6月6日付で設立されました。

## 株式の状況 （平成24年3月31日現在）

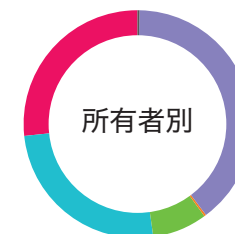
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株(自己株式 2,950,450株を含む)
株主数	7,878名(前期末比75名増)

### 大株主

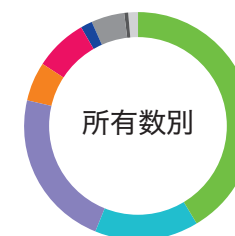
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,444	6.5
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,213	4.7
全国共済農業協同組合連合会	2,570	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,375	3.5
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,895	2.8
グローリーグループ社員持株会	1,702	2.5
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,136	1.7

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,950,450株があります。

### 株式分布状況



政府・地方公共団体	0.2%
金融機関	37.6%
金融商品取引業者	0.6%
その他の法人	7.8%
外国法人等	26.9%
個人・その他	26.9%



1,000,000株以上	41.4%
500,000株以上	14.3%
100,000株以上	23.1%
50,000株以上	5.3%
10,000株以上	7.6%
5,000株以上	1.8%
1,000株以上	4.7%
500株以上	0.6%
500株未満	1.2%

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東京、大阪
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.glory.co.jp">http://www.glory.co.jp</a>

### 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 〔各種お問合せ先 / 郵便物送付先〕

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL：0120-094-777(通話料無料)  
受付時間 9：00～17：00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)

### 〔ホームページアドレス〕

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。